

MSA だより

発行：(株) マネジメントシステム評価センター

災禍を乗り越えて

2020年2月から新型コロナウイルスの感染が全国に拡がり、今後も感染拡大が懸念される状況です。また、九州をはじめ、日本各地で豪雨による災害が発生しています。これらの災害により、被災されましたお客様の社員の皆様、社員のご家族の皆様に対しまして、謹んでお見舞い申し上げます。弊社は、各種災害で被災されたお客

様について審査の延期措置等、審査機関として最大限の努力をとっております。

今後もこれらの災害の影響に配慮すると共に「お客様の認証を守ること」を第一に考え、どのような審査方法が適用可能か試行しながら審査活動を本格化していきます。

新型コロナウイルスによる感染防止に努めながらの審査

現時点でMSAが取っている審査対応は下記の通りです。

1) 電子情報化

テレワークや時差出勤等の実施に伴い業務の簡素化を図り、お客様との連絡・お知らせを電子情報にてお届けすることとしております。

2) 認証の延期

今回の新型コロナウイルスによる感染の拡大や多発する自然災害等の緊急事態に対応し、影響のあるお客様の認証期限を[※]IAF_ID3により最大6か月までの延長を認めるなどの対応をしております。

3) リモート審査

お客様のWEB会議システム等の整備・運用状況を検討・評価させていただき、これらを活用したリモート審査も取り入れております。

4) 「3密」に配慮した審査

感染防止の観点から以下の項目を励行しております。

- ① 審査前の審査実施可否の再確認
- ② 審査員の日頃からの体調管理、感染防止対策の実施
- ③ 当日の体温測定と体調チェック
- ④ こまめな手洗い、手指消毒励行
- ⑤ マスクの常時着用、場合によりフェイスシールド着用
- ⑥ お客様と調整の上、「3密」を回避する審査方法 / 対策の設定

今後は、状況の変化にすばやく対応し、お客様の審査と認証にできる限り支障の出ないよう努めて参ります。

お客様の状況に合わせて下記2例のように弊社は柔軟に対応いたします。

※ 国際認定フォーラム(各国の認定機関の集まり)の参考文書



【写真提供元 東洋建設(株)様】

WEB会議システムを併用し対面での審査は少人数で実施



【写真提供元 (株)ガイアート様】

空間を保ち、審査員はフェイスシールドを着用

セミナー開催のご案内

MSA では、お客様サービスの一環として 2020 年度下期の各セミナーを下記のとおり開催いたします。
お申込みは MSA のホームページからお願いします。

ISMS・クラウド説明会	札幌：2020/10/13	名古屋：2020/10/21	東京：2021/02/16
ISO 45001 説明会	長野：2020/11/17	東京：2020/12/23	
内部監査員育成研修会	仙台：2020/11/13 前橋：2021/01/28	札幌：2020/11/20 水戸：2021/01/29	郡山：2020/12/04 秋田：2021/02/10 宇都宮：2020/12/11 東京：2021/02/26
CPDS 講習会	大阪：2020/10/09 姫路：2020/11/13 水戸：2021/02/04	仙台：2020/10/14 宇都宮：2020/12/09 福岡：2021/02/05	和歌山：2020/11/06 兵庫：2021/01/08 郡山：2020/11/11 前橋：2021/01/13

審査員研修の再開

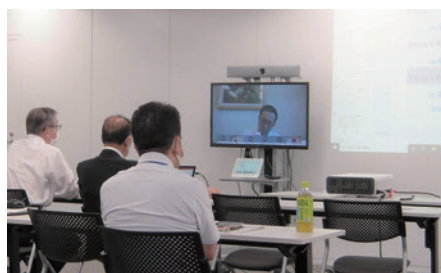
MSA では一時中断していた審査員研修を再開しました。再開に当たっては、マスク及びフェイスシールドの着用、マイクの使用の際には使用者毎にマイクの消毒を事前に行うなど徹底した感染防止対策を行っております。また少人数制で複数回実施することにより、「3密」にならないよう配慮した対応を行っております。



「3密」に配慮した審査員研修の実施状況

AMS 交流会を開催しました

コロナ禍の7月27日と31日に、MSAでアセットマネジメントシステム(AMS)の認証をされている全国各地のお客様の参加による「第6回AMS交流会」をWEB方式で開催しました。AMSの運用状況と課題について熱心な意見交換が行われ、参加された方からは、「ISO 55001の認証取得は、客先への営業展開の手段となる。」「システムの継続的改善のポイントが理解できた。」などのコメントが寄せられました。MSAでは、引き続きリモートを活用し、「AMS交流会」を深化してまいります。



全国各地のお客様とのAMS交流会

働く人々の安全・安心を実現

労働安全衛生マネジメントシステムの国際規格 ISO 45001 が 2018 年 3 月に発行され、同年 9 月に翻訳版 JIS Q 45001 が発行されました。これに伴い、民間規格の OHSAS 18001 は廃止され、国際規格への移行期限は当初 2021 年 3 月でしたが、コロナ禍の影響もあり 2021 年 9 月と延長され、残り 1 年を切りました。MSA から OHSAS 18001 を認証取得していた 185 組織のうち、現在、約 90% がすでに移行を終え、年内には移行審査を完了する予定です。また、JIS Q 45001 の認証取得により、国や地方公共団体の発注者から総合評価方式の工事や入札参加資格などで加点が受けられる動きが徐々に広まっており、これを背景に、現在新たに 100 を超える組織が新しい規格で認証を取得されました。

MSA では、心身の健康を含む労働環境に係る様々な危険源を特定し、その活動、プロセスに伴うリスクを評価し、必要な対策を検討し、経営層をはじめ働く人々が一緒になって実施していくことを目的とした JIS Q 45001 の普及に寄与していきます。